

医療法人 八誠会 もりそう教育だより

令和7年12月発行(No.18)

発行／もりやま総合心療病院

看護部

TEL 052-791-2133



看護教育 3 大ニュース！

毎年、今年の10大ニュースなどが聞かれてきます。10はちょっと多いので、看護教育の3大ニュースをひねり出してみようかと思います。



1. 新たなリーダーシップ研修を始めました

コロナの影響でしばらく休止していたリーダーシップ研修ですが、講義とグループワークを2日、その後倫理カンファレンスを各部署でやってもらい、最後にレポートを書いてもらうという大がかりなものにして再開しました。「リーダーシップ」と「ストレングス」と「倫理」いう3つのキーワードを取り上げて、少々盛り沢山な感じですが、それぞれのリーダーさんたちの個性が發揮されて楽しい研修になっております。

2. 紙カルテの大規模整理を行いました（カルテ管理委員会のメンバーとして）

開院から70年以上の歴史を持つ当院、今は電子カルテですが、その前の紙カルテ、それ以前の台紙と呼ばれる診療録など、3つのカルテ庫にたくさんの記録が保管されていました。紙は劣化もしますし、永久に保管するのも困難なので、治療終了から20年以上経過したカルテを処分することにしました。もちろん個人情報が漏れない方法で行います。皆さんの協力の下、カルテ庫もすっきり整理されてよかったです。

3. 看護部のパンフレットをリニューアルします

来年度のリニューアルに向けて、皆さんに原稿を書いていただき、着々と準備を進めております。病棟の再編や新入職者への研修体制を充実したことも盛り込む予定で、どんなパンフレットになるのか楽しみです。来年の夏のインターンシップでは新しいパンフレットでお迎えできると思いますので、ぜひお越しくださいね。

春のインターンシップと病院見学会の日程が決まりました！

インターンシップ(1日)は、①1月30日(金)、②2月13日(金)、③3月18日(水)、④3月26日(木)、病院見学会(午前)は、①2月21日(土)、②3月14日(土)です。詳しくは、HPをご覧ください。たくさんの方にご参加いただければ幸いです。上記日程でご都合がつかない場合は個別の対応も行います。お申込みは、看護部長の林眞悟 (m-hayashi@8seikai.jp または 052-791-2133) までご連絡を！

私事ですが、今年専門看護師の3回目の認定更新でした。資格のおかげで、講師や研究などの声をかけていただけたり、大学院の実習のご縁もいたいたりしているので、無事更新できてほっとしております。外部とつながりを持つことは、看護実践の質を維持向上していくために欠かせません。今後も、院内院外の方々と一緒に学びながら成長していきたいと思います。(看護教育担当副部長 菊池)

出張＆研修あれこれ

【学会発表に参加してきました①】 F3 病棟 大浦 Ns

10月に愛媛県松山市にて開催された日本精神科医学会学術大会で看護研究を発表してきました。はじめての土地、大きな会場、多くの参加者と完全に雰囲気に飲み込まれ、発表時にはマイクの電源が入っておらず、さらに電源が分からぬトラブルがありましたが、落ち着いた感じを出して発表をしてくれる事ができたと思います。座長に講評をいただきたり、他施設や他職種の事例や取り組みなどを聞いたり、自己の見分を広げる良い機会になりました。松山城に道後温泉、美味しい食べ物、お酒と少し観光もでき、遠かったですですがとても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。



【学会発表会に参加してきました②】 B1 病棟 岡田 Ns



第32回日本精神科看護専門学術集会 in 福島に参加してきました。1日目は自身の看護研究の発表を行いました。多くの人の前での発表でしたが、練習通りに落ち着いて発表ができました。改めて研究メンバーに感謝です。2日目は様々な発表を聴講してきました。自身の病棟に似たようなケースの発表などもあり、参考になる内容ばかりでした。2日間を通して多くの学びや経験を積むことが出来ました。病棟に戻ってから今回の学びを還元し、より良い看護を皆で行えるようにしていきたいと思っています。写真は福島で食べた美味しいご飯たちです。学も食も充実した2日間でした。

【嚥下ケア NCNP病院の講師によるzoom研修】 F2 病棟 平田 Ns

初めてまして、7月より中途入職しました平田です。9月にNCNP病院と合同で行われた嚥下ケア研修会にオンラインにて参加しました。前職では、脳外・神経内科の病棟で摂食嚥下に触れる機会が多く、その経験から評価の流れや観察ポイントはある程度理解していましたが、精神科では患者さんの認知面での揺らぎや生活背景、内服の影響など、異なる視点が求められると日々感じています。今回の研修会では、そのギャップを埋めるような実践的な工夫や、実際に抱えていた疑問に対して具体的な助言をいただくことができました。精神科ならではの関わりの深さを活かし、今回の学びを日々のケアに反映していきたいと思います。ありがとうございました。

玄冬の夜空に、オリオンが煌めく

師走に入り何かと多忙な日々が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私の昨年年末は、初めてコロナに感染し、年末年始をすべて病床で過ごす悲しい結果でした。今年はいいお正月を迎えるよう体調を整えたいところです。今回の言葉シリーズは「冬」にしようと調べてみました。「玄」は黒の意味があるそうで、中国の五行説で、冬は黒色だそうです。五行説では、季節のそれぞれに色があてはめられ、青春・朱夏・白秋・玄冬と季節が表現されるそうです。小学生のころ、冬の代表的な星座のオリオン座を見つけてみようと言われたことを懐かしく思い今回の言葉を選びました。中々冬の夜空をじっくり見上げる機会はないのですが、久しぶりに童心に帰り冬の夜空にオリオン座を見つけたいと思います。



看護教育師長 小川さんえ（精神科医学会認定看護師）